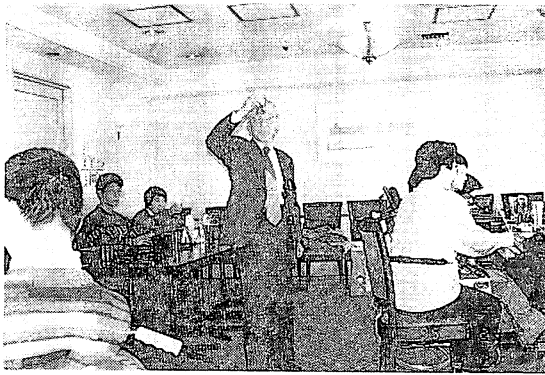


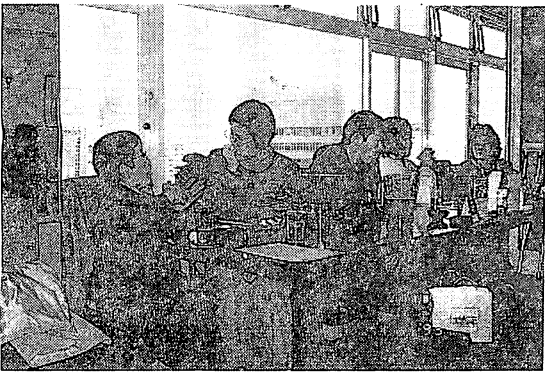
# サロンのあべの

Vol.104

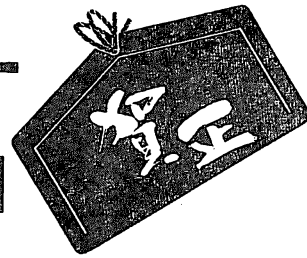
## 和やかに集う



倭さんの音頭でカンバイ



和やかに話はずむ



## サロンの新年会

サロン・あべのの一月の出会い

平成七年一月二十一日(土)、今年最初の出会いは、二十七名

が参加し「和やかに集う、サロンの新年会」を開催した。会場

は昨年の好評におこたえて、ホテルエコー・オーサカ九階

「ラウンジ・パーク」であった。料理が各テーブルに行き渡り、

大きなピッチャーに入れられたビールを、各自のグラスに注ぎ分けたところで乾杯。乾杯の音頭は、これも昨年と同様、倭さ

んにお願いをした。

料理は、昨年の洋風から一変、懐石風のお弁当であった。中身は、大きなえびと焼き魚、刺身、卵焼き、煮豆、昆布巻き、かまぼこ、つけものが入り、ご飯にはゆかりがふりかけられていた。食べやすく、とてもおいしい料理であった。もちろん食後には、コーヒーなどの飲み物が付き、ゆったりと食事ができた。

食事の話は、やはり四日前に起きた地震の事が多かったようである。

最後は、福引きである。食事の前に引いてもらっていたくじの封を開け、その中の紙に書かれた番号によって、景品(お年玉)を全員に配り、サロンの新年会を閉会した。

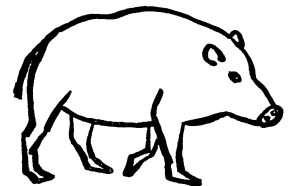
※一月十七日に発生した兵庫県南部地震による被害が、想像以上に深刻化していた、そのよう

な時期に新年会をするという事  
に對して、運営委員の中からも  
中止にすべきだという意見があ  
りました。一瞬にして多くの命  
が失われ、住み慣れた家を無く  
し、水・電気・ガスの無い生活  
に追いやられた人々の事を思え

ば当然です。しかし一方で、こ  
のサロンの新年会を、楽しみに  
していただくさる方々もおられ  
たのです。中止にする事は簡単  
でしたが、それは、運営委員会  
の考えを強要する事にほかなり  
ませんでした。救済物資や義援

金などについても同じです。各  
個人の判断にゆだねるべきもの  
なのです。ただ、直接的な被害  
は受けていなくても、あの地震  
による精神的なショックは、誰  
の胸からも消え去ることはない  
でしょう。

(上平幸雄)



### お知らせ

サロン・あべの3月の出合い

日時 3月18日(土) 午後1時~4時

場所 育徳コミュニティセンター研修室

(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、身障者用トイレ有り)

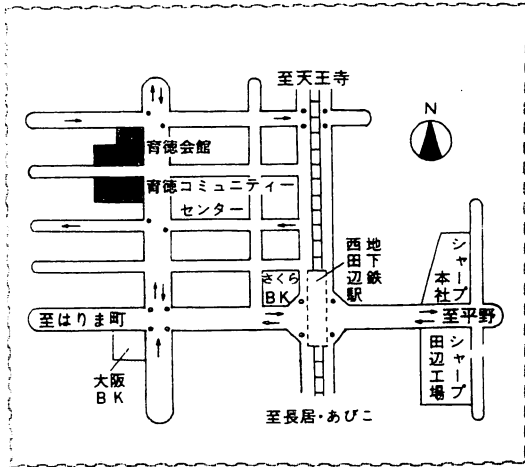
テーマ 『サロン井戸端会議』

~フリートーク「あなたが主役」~

会費 なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎06(691)10228 (富田慶子)



### 朗読テープのご案内

山本敏子さんのご協力で、ハサロン・あべのV紙一〇三号の録音テープが出来ました。バックナンバーは三九号から、一〇三号の分があります。五〇号は、九〇分と六

〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本にそれぞれ収録されています。又、絵本「未知の記憶」(作・絵川勝彦)の朗読テープもあります。いずれもご希望の方には、ダビングをします。富田までお申し出下さい。

(☎〇六九一〇二八)

### 感謝します

カンパ、切手、紅茶、冊子等のご寄贈。一筆箋、絵葉書等、お買い上げありがとうございました。お礼を申し上げます。

- 旭 純子、石田 律、崎本ヒサエ、
- 猿田 博、須賀茂登子、南光龍平、
- 藤井和子、まんだによしゆき、
- 倭 幸夫、和田保子 (匿名二名)
- 〇一月のカンパ 金一〇、五〇〇円

阿倍野区名所旧跡 いろはがるた

阿倍野に住んでいる人も、  
前に住んでいた人も、  
住んだことのない人も、  
阿倍野に全豚風味のない人も、  
それなりに「かるた」を  
お楽しみいただいているようで...

思い出のあべの

金子花江

今年も半月ほどで、さよならになります。何をするにも人の手を借りる今の私に年の瀬も新年もありませんけれど、思いをたぐればなつかしい街の様子が、いろいろと鮮やかに浮かび上がってきます。

サロンでは、りっぱな企画を二つもなさいましたネ。

私は、「かるた」の方も拝見し終わりました。五十年余りもあべのに住まいしていましたが、あの「かるた」で知った所もありますし、あべのの歴史を自分で歩いて知ったところもあり、夢を作り楽しむことができました。

嬉しい「かるた」

杉山 蔦枝

師走にはいり、なんとなく気忙しいころとなりました。

本日はハサロン・あべのV紙および「阿倍野区名所旧跡いろはがるた」をお送り下さいまして有難うございました。

絵入りのすばらしい「かるた」、さすがサロンの作品と嬉しいかぎりです。

「かるた」の名所旧跡を隈なく回って作られたそうで、それもわずか一カ月という短期間で、その超人的なご努力には唯々感謝あるのみです。

寒さのおり、皆様ご自愛下さいまして、よき新年をお迎え下さい。

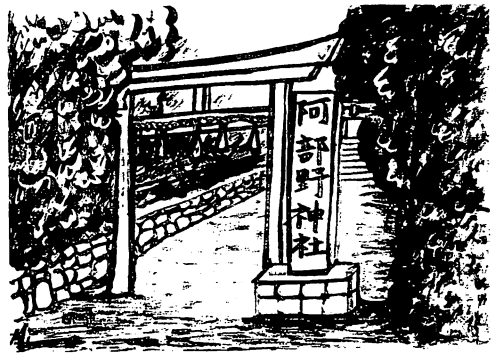
新年会、楽しみに致しております。

かるたの見本

かるたの見本をありがとうございます。ほんとうのかるたがいつくるか楽しみにしています。



弘法大師



阿部野神社

「いろはがるた」をガイドに散策

出口 正 敏

スカーフの色にこころ和みます。

△サロン・あべのV (Vol. 102)と「いろはがるた」をお送りいただき、有難うございました。

「いろはがるた」を見ながら、いったことのある場所を思い出しています。

信太妻の話を知ったときに安倍晴明神社、熊野街道に興味をもって阿倍王子神社、今はなき南海天王寺線に乗ってみたくて今池へ、そして天下茶屋まで足をのびし聖大さん：と、タイムスリップしたような町並み

があつたり、そこに住む人たちの生活に根づいている風景がとも印象的でした。

また「いろはがるた」をガイドブックに散策しようと思います。

歩いてみたい阿倍野

木村 圭子

「阿倍野いろはがるた」すばらしいですね。私は、阿倍野区のこと、どこもわかりませんが、松田峰子さんは、なつかしそうに石田さんといういろいろお話なされていました。大変な仕事だったのですね。

△サロン・あべのVに出会えて、何よりも大切な物が何かが、少し分かりかけてきました。

いろはがるたで、時間があれば行ってみたいですね。寒くなります。お体を大切になさって下さい。

保存します

森岡 昌子

「阿倍野名所旧跡 いろはがるた」は、とっても勉強になり、嬉しく読ませていただきました。大切に保存致しておきます。

カルタで探索

松田峰子

お土産に、サロン一〇二号に阿倍野区名所旧跡のカルタをいただき、楽しんで読ませていただいています。

阿倍野に長年住みながら、知らない所が多くあり、暖かい日に廻ってみたいと思っています。

石田編集長ご夫妻が一カ月で廻られたとの事、大変だったと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいです。取り急ぎ、乱文にて失礼ながらお礼まで。



長池ゆずり葉の道

公平に詠まれている阿倍野

阿倍野を片寄らないで公平に詠んであるのに感心しました。その読み札の深遠な意味を適格に捉えた絵札にも感心しました。これを一カ月でまとめたサロンはもつとすごいいました。

いろいろな所での活用を

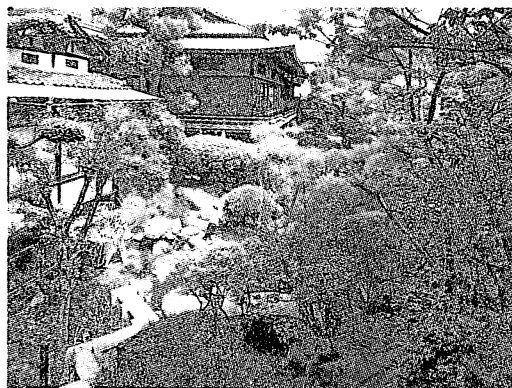
八木千尋

「阿倍野いろはがるた」拜見させていただきました。

全然、阿倍野の事を知らない私でも、兼好の事とか、小町塚とかetc. 結構、耳なれた人たちの名前に由来する所があった、一度いってみたい気持ちになります。自分の足で回られて、これだけの事をやりとげられたのはりっぱな事ですし、もついろいろな場所で利用されて生かされていたらと思いますね。

阿倍野に友達がいて、話の中に松虫がよく出てくるので、印象に残っていたので、来月会う時に見せたいと思います。

頑張って下さいね。



庭園―八ツ橋

この朝陽館の絵はがきの提供は松田峰子さんです。



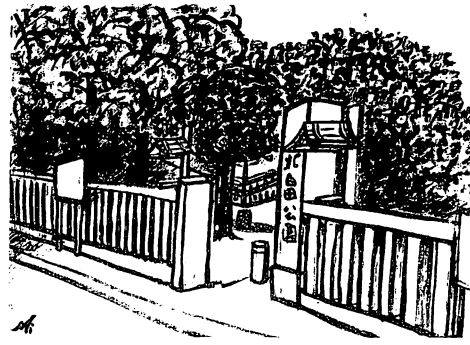
右上 月見台 正面下 茶室

いろんな所がなつかしい

澤田千代

「阿倍野いろはがるた」の「え」を見て  
いるといろんな所が思い出されて、なつか  
しかったです。

ありがとうございます。



北島公園

昨日今日の寒さはまた格別でしたね。

いつもお気づかいありがとうございます。

感想なんてぼんやり生活している私に無  
理な注文ですよ・・・

私なりにボンヤリと見たままのことを少  
しだけ書かせていただきます。

絵(画)がともていねいに仕上げであ

ること。その場所の雰囲気がよく表現され

ているので実際に見たことがない者でもよ

く伝わってきます。今、点訳をしている本

が「大阪ふらり」落語漫歩の話です。それと

重なって、よい参考資料になりました。

ありがとうございます。

来年は本とカルタを片手に天王寺、アベ

ノ近辺をふらつく計画をたてます。

一つ希望として巻末に地図と説明(?)

があります。これはこれで各々のかるた

の所に小さな文字で町名が入ればよいと思

いました。

十二月十七日

山口豊子

信太の山の白ギツネ

七八歳おはなはん

このかるたをみて、わたしが子供を育て

ていたころのことを思い出しました。

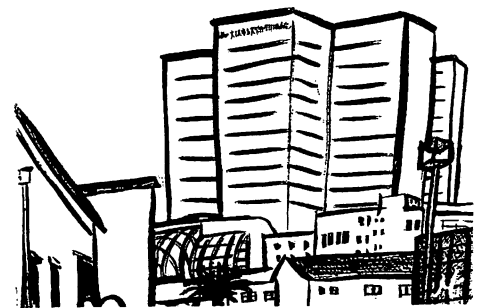
五十年、六十年くらい前の話になります。

信太の山の白ギツネ

昼は泣いても

夜泣くな

わたしの母に聞いたのか、だれに教わった



市大付属病院

のか、おぼえていませんが、これを半紙に  
かいて子供のフトンの下へ敷いておけば、  
夜泣き封じになるといので、そうしてい  
ました。こうして大きくなった娘も子供  
(わたしからすれば孫)にわたしがしていた  
ように

信太の山の白ギツネ

.....

と書いていたようです。

こんどのかるたにある、晴明と子別れし

たギツネと、子供にやすらかな夜をいざな

った白ギツネは、わたしにはどうもいっし

よのギツネのように思えてしかたないので

す。

仕事のついでに回る楽しみ

橋野 享子

△サロン・あべのV-100号送って下さってありがとうございます。

みなさん、前向きで…、積極的で…、自然と元気づけられました。

また、先日は、「いろはがるた」を送っていただきました。私の会社の近くにも「ある!」「ある!」と

「え」をたのしみながら、こんなにも阿倍野には深い歴史があったのか…と感動いたしました。

これからは、仕事で阿倍野区を自転車で走り回る時の楽しみの一つとさせていただきます。

懐かしい阿倍野

一〇一号に「かるた」の広告が載った。

十二月三日が待ち遠しかった。郵便が来るのが遅く思えた。来たたん唸った。阿倍野を離れてしばし、懐かしいのひとこと。

みてゆくうちに阿倍野も変わったやろうなとも思う。

「解説」付いて二百点

「かるた」だけではちょっとわかりにくいところもあったが、解説が付いて二百点や。

## ★ 誠実ということ

言葉の意味は知っていても、生きるなかで感じることができないでいた言葉がある。それは「誠実」という言葉だ。この数週間というもの、誠実であるとはどういうことなのかを考えさせられた。

というのも、あの大地震である。私は兵庫県出身だが、南兵庫の人間は、地震とは無縁の土地だと誰もが信じていた。朝一番のニュースには大阪の震度だけが伝えられたが、そこには大阪の何もかわらない風景が映し出されていた。

被害が思いもしなかったほどひどいとわかってくると、私は、もうテレビ

を見ることができなくなっていた。新聞も閉じたまま。いまでもテレビも新聞も見えない。気が重くて見るできない。

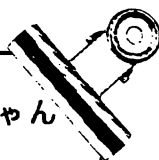
何ができるのだろうと思いついて、たとき、ラジオが、欧米では、災害の直後には精神科医たちが現地に入り被災者の精神的ケアをするという話を伝えていた。日本では、そういうことはほとんどないという。では、このことについて情報を集めてみようと思いついて、パソコン通信で世界に呼びかけてみた。被災者の精神的援助の方法について知りたいと、海外の専門家たちに頼んだのである。

その反応は早かった。わずか一週間後には私が受け取った英文の電子メールは百通を軽く超えていた。読むのがたいへんだった。最初はひとつひとつに返事を書いてしたが、二十通を超えたあたりで疲れてしまった。もう、どうしていいのかわからなかった。震災後も、関東では生活のリズムがいつもどおり進んでいる。毎日の仕事も別にあるのである。メールは毎日、何十通と届く。そのうち、こちらもパニックになってしまつて、コンピュータを見るのも恐くなつてきた。

メールのいくつかは、「いまからだちに現地にいく用意がある」という

ものだった。思いつきで書かれているのではない。カナダやアメリカの空軍関係者からのメールなのである。「そちらには2時間半で着ける」と言う。

「もし私たちを迎えるのが難しいのなら、すぐ、こちらに来たまえ。精神的援助の方法を集中的に教え訓練する準備はできている」というアメリカ精神



### 大震災のとき

#### おもしろい 姉ちゃん

阪神大震災の朝、みなさんはどこで何をしていらっしやいましたか？

私は、我が職場こんごう寮の当直室で、眠っております。た。グラグラ揺れるので、目を覚まし、そのまま布団の中で、

「地震だ、どうしよう。火災の時は、寮生さんを外に出すけど、地震はどっちが安全なんだ。どうやって、一・二名もの人の安全を守るんだ。殉死はイヤやな。もう、止まってくれー」  
と布団の中で悩んでおりました。

しばらくして、しっかりした寮生さんが

「地震や」

と居室を飛び出したため、私も部屋を出て

「大丈夫。とりあえず、服に着替えとこか」

とまわっているうちに、大きな揺れはおさまりました。

結局、建物、寮生さんに大きな被害はなく、今後の地震への対応策という課題が残りました。

ちなみに三分の二の寮生さんは眠ったまま、起きませんでした。

田 淵 美登利

医学協会等からの申し出もあった。私はもうどう答えていいのかわからず、そのままにしていると、横須賀の米軍基地から電話があり、「すぐグアムに電話するように」との指示を受けた。何のことだろうと百通以上のメールを探すと、たしかにグアムから援助のために出動する準備ができていているというメッセージがあった。

それから一週間ほどたつと、速達で送られてきた資料が、北米を中心とした地域からほとんど郵送されてきた。まるで部厚い本のような資料から細かな論文のコピーまで、内容はさまざまだ。

これらの資料は、すべて英文だ。これをそのまま現地に送ったところで何になるだろう。現地は、きつと戦場のようにひっくりかえっている。誰がこんな英文の資料をじっくりと読む時間をもっているだろう。かといって、私がかつこれをひとりで訳すというのは、あまりに負担が大きすぎる。

あれやこれやと考えているうちに時間がすぎていく。私は鬱(うつ)的になってきた。別に急ぎはしない仕事に夜明けまで没頭することが続いた。私は、もう完全に逃げていたのである。

東京の学生たちと話していると、数





人の学生たちを除いては震災の話は出なくなつた。薄情だと思つてはいけない。私は兵庫の人間だからこそ、これほどこだわっているにすぎない。雲仙や奥尻島の災害のとき自分は被災者のために何かしようと思つただろうか。わずかな寄付でもしようとしたらどうか。恥ずかしいことにそれは考えなかつた。そして、いま、太平洋を越えて多くの人たちからの援助の申し出を受けている。それにきちんと対応できていない私がいる。

周囲の動きはじめた教員たちに励まされて、私は、郵送された多量の資料は、そのまま大阪の拠点に送ることにした。つぎの月曜日には神戸の街を訪れたいと思つている。  
「何かしたい」と言つたら、ほんとうに動かなければならない。「何かを

したい」という私の言葉を信じて送られた多くの心に、応えなければならぬ。形だけ表面をつくろうように応えるのではなく、本当に自分も納得できる形で応えたい。それが誠実ということだと思ふ。とても難しく疲れ、神経がすり減り、心が重くなることだが、自分にも周囲にもつく嘘はできるだけ少なくしたいと思ふ。  
(知)

エッセーは心に効く

森 芳江

このたびは、早速にエッセー集を送つて下さいまして、ありがとうございます。

岡先生のエッセーは、自分の心がギスギスした時や、少し痛くなった時に、ほっとできるなあと思ひます。

岡さんのエッセイ集

「ほんのすこしの神に近い部分」

△サロン・あべのV紙で大へん好評の岡 知史さんのエッセイが一冊の本にまとめられ、大阪ボランティア協会から出版されました。

この「ほんの少しの神に近い部分」は「知らされない愛について」に続く二冊目です。

イラストは石田美禰子さんです。

頒 価 二七〇〇円

連 絡 富田慶子

(〇六・六九一・一〇二八)

ホープの集い第4回展示会

華展未生流&手作り作品展

☆生花と手作りの工芸染色絵更紗・機織り物等、心を込めた品々と共に、皆様のご来場をお待ちしています。

日 時=3月10(金)~11日(土)  
11:00~16:00  
(11日15:00まで)

場 所=早川福祉会館

〒546大阪市東住吉区南田辺1-9-28

バス停東住吉区役所前

地下鉄西田辺駅東へ15分

主 催=ホープのつどい

問合わせ先= ☎06-609-0645  
(水・金のみ)



## 美智子のこんな話

岸田 美智子

施設障害者のガイドヘルパー制度について

昨年十二月もおしつまった二六日、大阪府の障害福祉課と話し合いがありました。オールラウンドの場合九五年度秋には、施設障害者を対象にしたガイドヘルパー制度が実現するという解答でしたが、この時は大阪府としては介護者を派遣するのではなく、介護料を出す制度になると言っていたのですが、この日の内容によると介護料の制度でなく、大阪府独自で施設障害者だけを対象にしたガイドヘルパーを募集し、施設に派遣するという形になりそうです。

介護料があっても介護者が見つかりにくい施設障害者には、介護者派遣の方がよりいいと思われれます。そして、ガイドヘルパーの研修なども独自で行い、現在地域の在宅障害者のガイドヘルパーをやっている人たちも、もちろん登録できるものになりそうです。たゞ心配なのは、この事業をどこかの法人に委託するそうです。この委託先が問題になりそうな気がします。今もなお管理が厳しく外出もままならない入所施設実態をよく理解した法人(団体)は余りないような気がします。せっかくできた制度が窓口になる団体によって、左右されてしまつては非常に困ります。施設から外に出たいと思ひ、この制度を利用しようとしても電話すらかけられない施設障害者の方がほとんどですから。一人ひとりの施設障害者の思いをきつちり受け止めていける法人に委託されることを強く望んでいます。府としては、これから財政の方と相談し庁内合意をとつて、実現して行きたいというのでした。是非がんばつて欲しいと期待しているのですが。私たちも十分注意しながら見守つて行き

たいと思っています。

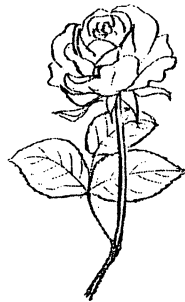
\*連絡先 ライフネットワーク

大阪市住吉区大領五十一番十六

TEL 〇六〇七二八二六〇

FAX 〇六〇七二五五〇三

「作る つくる 創る」(河合恵子)は、お休みします。



サロン隣組ニュース

### ■「ウイズ・東淀川」

○第6回「ウイズ・東淀川の出会い」

日時・3月18日(土)午後2時~4時

場所・東淀川会館4階(エバク・車イス利用)

内容・「ハンディキャップのある人も、ない人も登山を」

講師・和田菊博氏(山と友の会)

問い合わせ先・☎06-340-3082

(鈴木昭二)

# 高齢者と在宅介護

17

「井もと 真澄」

## 四、高齢者に対する広報活動

〔大阪府下における実態調査より〕(3)

### Ⅲ 研究の結果

分析は、調査結果より、まず全体的な傾向を示し、次に広報活動の種類別に行っていくこととします。広報活動の種類は、1. 広報紙、2. パンフレット等、3. ポスター、4. イベント・キャンペーン等、の4項目を設定しました。また、各機関ごとのクロス集計より、機関別の分析も行います。

今回分析の対象とした機関と、その割合は、「市町村老人福祉担当部局」が三三・八%、「市町村保健担当部局」が一八・九%、「市町村社会福祉協議会」が二三・〇%、「保健所」が二五・四%となっています。

これらの機関に対して、要介護高齢者に対する保健福祉サービスの情報提供を、どのよ

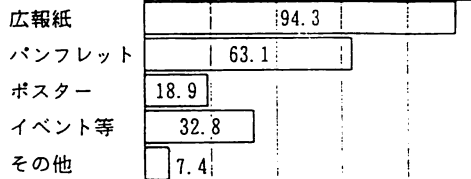
うな広報活動によって行っているかを尋ねました(図)。「広報紙」が九四・三%と、最も高い割合を示しており、続いて、「パンフレット等」が六三・一%、「イベント等」三二・八%、「ポスター」一八・九%となっています。これより、広報紙による情報提供はほとんどの機関で行われており、他は、「パンフレット」約六割、「イベント」三割、「ポスター」二割が、各機関で用いられていることがわかります。

各機関別にみると、以下のような傾向がみられました。「広報紙」、「パンフレット」の割合は保健所が他の機関よりもやや低く、「ポスター」は市の保健担当でやや高くなっています。最も特徴的なのは「イベント・キャンペーン」で、保健所が五八・一%と高い割合を示し、その次が市町村社会福祉協議会の三九・三%となっており、最も低い割合である市町村老人福祉担当の一五・〇%とは大きな差がみられます。

な差がみられます。

0 20 40 60 80 100 (単位: %)

図 広報活動の種類



(n=122) (複数回答)

## FROM EDITOR

編集後記

懐しい阿倍野、魅力の阿倍野、翔く阿倍野、そして、あなたのふるさと阿倍野を楽しんでもらおうと「阿倍野区名所旧跡 いろはがるた」を12月に、その「解説」を1月にお届けしました。みなさん思い思いにお楽しみいただけているようで……。ほんとうによかった、突貫工事で作ったかがありました。この「かるた」の輪がもっと広がれば、と思います。(石)

大人気

これは便利

一筆箋

定番

風景と花だより

絵葉書

注目品

阿倍野区名所旧跡

いろはがるた

好評

サロングッズ

大人気・定番・注目品のまっさかり。

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.104[`95. 2.18 発行] 定価¥100.

代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

印刷；セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F

TEL 06-719-8212 FAX 06-719-8213

一九九一年九月三日第三種郵便物認可(毎日発行)